

鉄のモニュメント「浮きドック」・神戸兵庫の港界限 walk 2011.9.15



兵庫港 兵庫埠頭 神戸中央卸売市場より 北側 六甲連山を背に神戸の街を眺める 2011.9.15.



兵庫港 岸壁 & 浮きドック

卸売市場・本場 セリ場 & 仲卸店

やっと空の雲は秋らしくなってきましたが、まだまだ暑い9月。 google earth で 神戸の港の衛星写真を眺めていて「今年の夏は 山から海を眺めてばっかりで 神戸のウォーターフロントへは行かなかったなあ」と。そして、神戸の中央卸売市場とその東側川重神戸造船所に隣接している兵庫港の中に小さな浮きドック群を見つけました。

「造船業界再編の波を潜り抜けて、まだ 元気に浮きドックが浮かんでいる」とちょっと感激。

かつて 仕事をしている時にはよく通った界限ですが、もう随分長いこと行ったことなし。

「中央市場も新しくなったし、カンカンと音がし、クレーンの走行音 溶接の火花が飛び散る造船所の現場。久しぶりに現場の活気を眺めたい」と9月15日 晴天の空と風にひきつけられて JR 神戸駅の南 若い人で賑わうウォーターフロント ハーバーランド・モザイクと南隣の川重神戸造船所の1ブロックを挟んで南側 「兵庫港・中央卸売市場界限Walk」に出かけました。

地下鉄海岸線中央市場前で降りればすぐ直ぐ目の前が中央市場。また、JR 兵庫駅から海岸側東へ 街中を1キロロキども歩けば、中央市場。

また、JR 神戸駅から海岸側 ハーバーランドの中を抜けて、海岸沿いの広い通りを川重の塀沿いを南に新しいビル群とちょっとレトロになった港町の街並を眺めながら散歩すれば 30分ほど 兵庫港・中央市場の前に出る。

この界限は神戸港発祥の地 大輪田の

泊・兵庫の津で、幕末近代的な港を歩み始めた神戸港の前身「兵庫港」



西出町の小さな浮きドック群と
川重の浮きドック

また、高度成長期には この港を取り囲んで 北に川崎造船(川重神戸)西に三菱神戸造船の大造船所を中心に関連工場・中小造船所が立ち並び神戸を代表する活気あふれる工業の街で、中央卸売市場もそんな神戸の港の中心に置かれた。

兵庫の街歩きの案内標識が整備されているので、ぶらぶら歩いて 港町神戸の歴史に触れながら歩く街。観光客もおらず、造船不況と先端・合理化の波を乗り越えて、立ち並ぶ工場街。生の神戸がみられる界限でもある。

1. 概要 神戸港の西部 兵庫港にある浮きドックと神戸市中央卸売市場

＜＜ 造船所の浮きドック 写真は神戸ドックのホームページより ＞＞



鋼鉄製の大きな箱の形をしている箱舟の一種。内部に水を入れて自らを半水没させ、船を中に入れたのち、排水して再び浮き上がらせ、船の修理・改装などを行なう。



浮きドックへの入渠 → ドック内海水の排出 → 船底の清掃

＜＜ 神戸市兵庫区中之島 神戸市中央卸売市場 ＞＞



現在の中央卸売市場・本場

神戸市中央市場本場は昭和 7 年全国で 5 番目の中央卸売市場として開場。現在 別の場所にある東部・西部と 3 つの卸売市場を合わせ、神戸卸売市場と言い、水産物、塩乾卸売り、青果物を扱い、早朝にはせりが行われる神戸市の台所。

ここは神戸市中央市場本場という。この場所にあった旧中央市場本場は幹線道路が走り抜ける両側に市場があり、利便性を欠くうえ、部分整備がされてきたとはいえ、老朽化が進んでいることから、順次道路の東側へ移転・集約化されることになり 2009 年 4 月に新建物へ移行完了しました。西側の地は今金網に囲まれた更地になり、新しい建物の 2 階からは 北側に広がる更地越しに神戸の市街地やその背後の山並みが望めます。



西側 旧卸売市場は更地 2011.9.15.

背後に神戸の街・六甲連山

南北に延びる道を挟んで 東側の兵庫埠頭側に卸売市場が移って
旧卸売り市場は 現在は更地になっている



昭和 62 年に建てられた旧中央卸売市場

2. 神戸中央卸売市場を歩く 2011.9.15.



神戸市の背後 菊水山から眺めた港町「神戸」



兵庫港界限



神戸卸売市場前 2011. 9. 15.

久しぶりに神戸中央卸売市場周辺を歩きたくなって、9月15日昼前地下鉄中央市場前で降りる。

卸売市場の活気を見るのは好きで、単身赴任地の近く銚子漁港・下関唐戸市場・柏卸売市場などには空気を感じてよく出かけ、今も出かけた先で市場を見つけると足を止めることが多い。

車がひっきりなしに出入りし、ごちゃごちゃした神戸旧中央卸売市場の横を何度か通った記憶はあるのですが、綺麗に整備された神戸の中央卸売市場へ行くのは初めて。市場の「せり」を見学するには時間が遅すぎ、仕事は終わっている時刻。店はみんなしまっているだろうが、場外で昼飯は食べられるだろうと。



「扇港」と呼ばれる神戸の港の西端部 東西に延びていた海岸線が逆L(「」)字状に変わり和田岬へ続くコーナーの位置 最初に開かれた兵庫港の岸壁に接して 新しく整備された中央卸売市場がある。

地下鉄をおりて、地上に出るとすぐ前が中央卸売市場である。

海岸沿いを南の和田岬へ通る広い幹線道路の海岸側に面して 4階建ての建物の端に「中央卸売市場・本場」と書かれた南北に長く延びる大きな建物 中央卸売市場の事務棟ビルがあり、二階飲食店街と書かれている。

道路の反対側には かつての卸売市場があった場所が更地になっていました。 昔の雑然とした風景は全くなく、建物に中央卸売市場と書かれていないとスーと通り過ぎてしまいそう。また、阪神間に住む我々には 海岸が南 山側北と頭にこびりついているのですが、ここは海岸側の港は「東」 山側は西で、どうもピンとこないし、広い通りに新しい建物そして地下鉄新しい街の感じがする。

中央卸売市場の市場はこの建物の海岸側にあり、建物の南・北端が市場への入口で、ひっきりなしに車が入り出している。市場の昼飯は魅力なんですが、まず 市場の中に行こうと建物横の門を入ると、この大きな建物に沿って 屋根の架かった広い駐車スペースに車がぎっしり。この中に仲卸の店が建ち並んでいて、さらにその奥がセリ場となっていました。そして、忙しく働く市場の人に「北側 岸壁に沿うところが 魚のセリ場。南側が青果のセリ場」と教えてもらいました。市場の中はもうセリも仲卸の作業もほとんど終わっていて 仲卸の店が並ぶ通路は電気が消えて薄暗く、ひっそり。まだ作業整理をしている幾人かの人たちが忙しく動きまわっているのに出会う程度である。「魚のせり早朝 4 時・5 時」・「青果のせりはちょっとゆっくり」 でも 10 時までに来ないと店はどこも閉まってしまうと教えてもらいました。



神戸 中央卸売市場 左手側が鮮魚右側が青果の卸売市場で 駐車スペースの奥に仲卸の店が建ち並び、セリ場がある



中央卸売市場の内部 [1] 2011. 9. 15.



中央卸売市場の内部 [2] 左&中 鮮魚側の岸壁 右 青果セリ場



セリが終わった仲卸の店 仕分け作業に忙しく働く店が見られました

神戸の中央卸売市場では小売りが全くないので、セリが終わって 小売りの仕分けが終わってしまうと店が早くにしまってしまう。 市場の活気を見るには 朝早く出てこないダメでした。

もっと中がごたごたしていると想像していたのですが、本当に広いのと整然と店が並んで綺麗なのにびっくりでした。

また、後ろに写真がありますが、市場の中を抜けて、岸壁に出ると素晴らしい神戸の港風景がありました。

山側から神戸の港を見る機会が多いのですが、海側から 六甲連山を背にした神戸の港の素晴らしい景色。

正面 真っ青な海面の向こう遠くに六甲連山の山並みをバックに神戸のビル群が立ち並び、その前に兵庫の港が広がる。

山並みの山裾には 兵庫の港を開いた平清盛の福原京である。



中央卸売市場校内の岸壁から眺めた兵庫港全景 2011. 9. 15.

古くは大輪田泊とよばれ、平清盛が人工島「経ヶ島」を作って、現在の神戸港の基礎をきずき、

その後、「兵庫の津」と呼ばれるなど、古い歴史を持つ兵庫の港。

幕末「兵庫港」として開港して、近代的な港としての一步をふみ出し、「扇港」と呼ばれる神戸港の前身。

左手に卸売市場の岸壁 中央には舳や小さな船が係留している兵庫の港 そして右手には Google earth で見つけた小さな浮きドック群。その右にはクレーンが立ち並ぶ川重神戸の巨大浮きドックがみえる。そして、神戸港の内海にでる海路を挟んで、兵庫埠頭の倉庫群。 神戸の港の初めてのアングルに岸壁に座り込んでしばし見とれました。

六甲連山を背に山から海岸へ立ち並ぶビル群をバックに中突堤のような観光岸壁でもなく、また 工場・機械と車で人が立ち入れない新しい港でもなく、ちょっとレトロ感も漂う身近で、歴史ある港の風景です。



中央卸売市場事務棟 2F の食堂街

昼飯 2F 市場の食堂で

店構えは綺麗なビルの食堂街なのですが、ここは様子が違う。まさに市場の食堂。

市場で働く人が次々やってきて、急いで食べて 仕事に戻ってゆく・・・・・・。

時間が遅く 海鮮丼は売り切れ。 焼きそば定食が日替わり定食だったようで、焼きそばがおかずで白飯 サラダ 味噌汁。

久しぶりに見た大盛り白飯の焼きそば定食でボリュームも市場サイズ。それでワンコインで腹一杯でした。

工場食を思い出しました。卸売市場の食堂というと、最近は見学客など外の客を意識した店が並ぶのですが、おもしろかった。

<< 中央卸売市場から眺めた兵庫港 2011. 9. 15. >>



卸売市場の岸壁から 六甲連山を背に兵庫港の全景が眺められました 2011. 9. 15.



兵庫港 左奥 菊水山 右奥 鍋蓋山を背に港の背は平清盛の福原京



浮きドックに船が入っているのが見える





兵庫港の東側部 西出町の岸壁に 小さな浮きドックがならぶ さして 右端に川重の大きな浮きドック
浮きドックには 船が入っていて 現役なのがうれしい 2011.9.15.

3. 兵庫港岸壁から西出町の浮きドック

中央卸売市場を出て 広い通りを北へ。

先ほど卸売市場から見た兵庫港の岸壁から浮きドックの並ぶ西出町へ歩く。

すぐに 新川運河にかかる築島橋を渡り、右に折れて、新川沿いの護岸壁沿いを歩くと兵庫港の岸壁に出る。

新川の運河を挟んで、卸売市場の直ぐ北側で 小さな船が何隻も接岸して、排油が何かドラム缶の積みこみをしていました。

久しぶりの漁港ではない産業港の景色。

船をながめながら、種類や船籍を考えるのも楽しい。

係留された船と船の間の海の向こうに 卸売市場からは端しか見えなかった巨大な川重の浮きドック[白いのが No. 2 Dock その後ろ黒いのが No. 3Dock] が見えています。この

位置からだと白い No. 2Dock と No. 3Dock の比較ができないが、No. 3Dock は No2 の倍以上の大きさである。



築島橋 橋の左側に新川に設けられた水門に「清盛ゆかりのまち兵庫」 右側 新川すぐ兵庫の港



卸売場の直ぐ北 兵庫港の岸壁 小さな船が何隻も接岸していました 久しぶりの産業港の景色です 2011. 9. 15.



兵庫港岸壁に接岸している小型船 色々 2011. 9. 15.



兵庫港の向こうには 起重機を林立している川重 No2. と No. 3 の大きな浮きドックが見える 2011. 9. 15.



川重の大きな浮きドック No.2. Dock と No. 3Dock

また、岸壁の北の端に出ると 小さな浮きドックが岸壁から突き出して浮いているのも見える。

「カン カン カン」と響く金属音やクレーンや車の走行音など色々な音が聞こえ、溶接の火花も…。 それらに吸い寄せられるようにドックの並ぶ東出町の岸壁側に回り込み、浮きドックの中を覗きこみながら、岸壁を歩きました。

小さな造船所が岸壁に沿って立ち並ぶ街 東出町。 造船ブームが去り、造船はどうなっているのか 心配でしたが、ドックには船が入り、作業音が響いて、久しぶりに聞く音・匂いが心地よい。



兵庫港の北側岸壁には小さな造船所が並び、その前の海に浮きドックが並んで見える 2011.9.15.



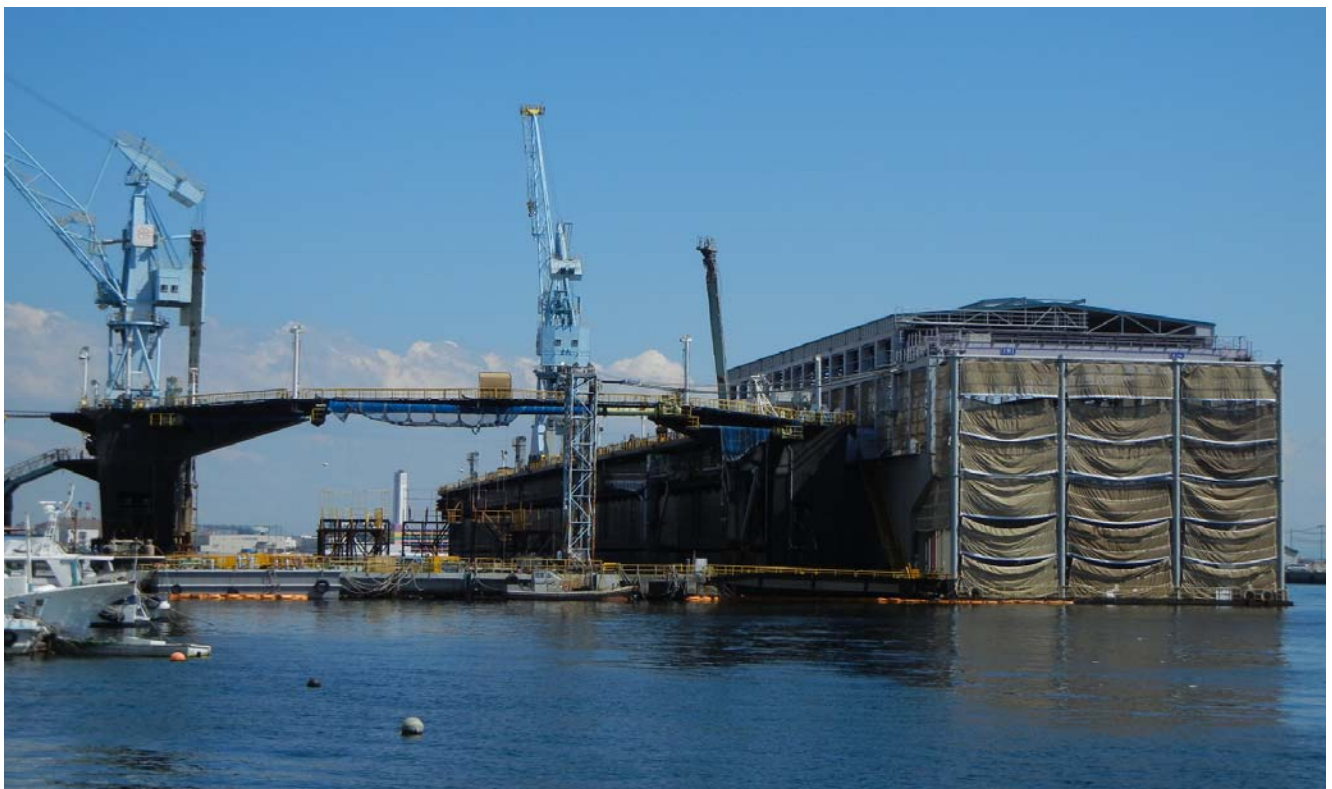
兵庫港 東出町の岸壁にある浮きドック ドックの一つにはアルミ船が入り 作業が行われていました



浮きドックに入ったアルミの小型船 2011. 9. 15.

完璧の東の端からは 川重の構内にある No2. と No3. Dock が正面から眺められました。

No. 2 はドックの入口が布でふさがれ、外からは見えない。また、No3. も入口の水門が閉じられ、海に深く沈んで見えない。
いずれも 潜水艦など艦艇の修繕が行われるドックで、船体が外から見えぬようにされているのだらう



川崎重工の巨大な浮きドックの正面 左 No.3 Dock 右 No.2 Dock

岸壁の端から工場の間を抜けて北へ回り込みましたが、川重のドックへは行けませんでした。

久しぶりの工場街歩き 造船業がまた怪しいといわれる昨今 何とか新しい道が開け、活気ある町にこの界隈が復活することを願いながら、工場の扉を覗きこみながら 表通りに抜けました。

広い道に出たところに「兵庫港・浮きドック」などこの界隈の歴史的な場所を示した案内板があり、歩道には船の埋め込みタイル。

あまり 意識していませんでしたが、この地域は神戸の歴史を語る場所。そして、兵庫港にある浮きドック群は 直に造船所がみられる数少ない場所。まだ、現役で活躍しているのを見て、うれしくなりました。こじつけ的ではありますが、Google earth の衛星写真からもくっきり見える神戸の港の象徴神戸の街が造船の街であり、日本を支えた造船の鉄のモニュメント。かつて 造船用鋼板 そして その溶接を手掛けた私にとっては、若き日を思い出させてくれる場所でもありました。



久しぶりに神戸のウォーターフロント。

一度行きたかった神戸の中央市場。今度はセリを見に行こう。

また、海側から見る神戸の港 初めて見る兵庫港からのアングル。

観光やファッションの華やかさとは無縁ですが、エンジニアの私にはうれしいWalk 道の発見でした。

川重の工場の塀沿いを北に少し歩くと神戸の新しい観光ゾーン モザイク・中突堤・メリケンパーク

気持ちの良い神戸の港Walk でした。

2011. 9. 15. by Mutsu Nakanishi



【 鉄のモニュメント 】

神戸兵庫の港
浮きドック群

2011. 9. 15.



神戸の新しいウォーターフロントの観光ゾーン モザイク・中突堤・メリケンパーク